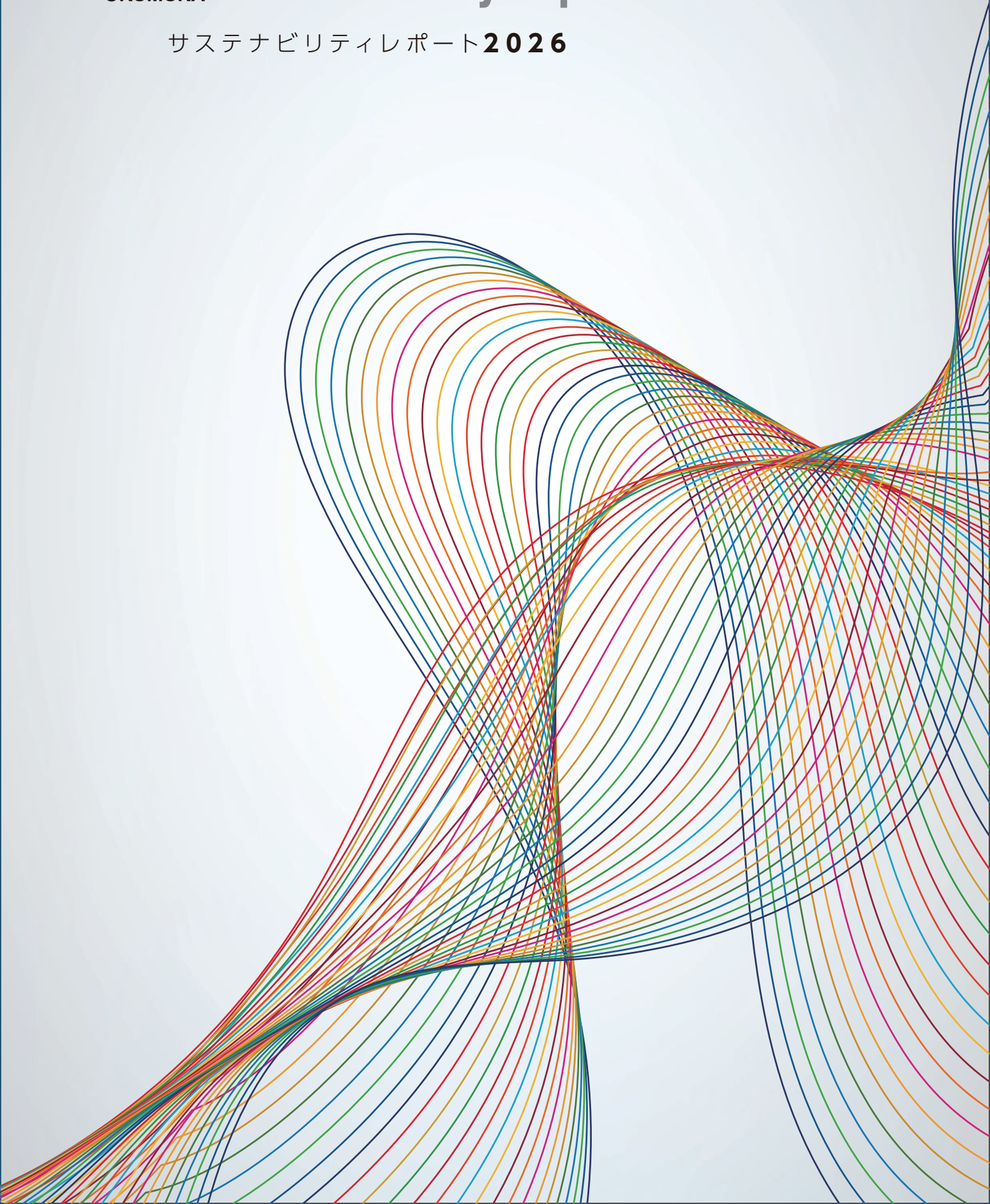




奥村組土木興業株式会社
Sustainability Report

サステナビリティレポート2026



ナイスワーク・ナイスコミュニケーション

人と結ぶ、人を結ぶ技術と心…すべてはここから始まり、ここに至る

ナイスアースワーク

私たちは、地球環境を大切に社会に誇れる仕事をします



ナイスネットワーク

私たちは、新しい技術・情報を生かしレベルアップに努めます



ナイスアーバンワーク

私たちは、都市と文化を考えた新しい街づくりを目指します



ナイスワーク Nice communication

私たちは、最新技術と柔軟なココロで
人と社会にナイスワークの「N/A」を広げ
豊かな環境づくりにチャレンジします

ナイスフットワーク

私たちは、知恵を出し、お客様が真に望まれる仕事に励みます



ナイスライフワーク

私たちは、生きがい・働きがいのある人生を構築していきます



ナイスハートワーク

私たちは、良いパートナーシップを育み明るい社風を創ります



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

1. 貧困をなくそう

あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる

2. 飢餓をゼロに

飢餓を終わらせ、食糧安全保障および栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する

3. すべての人に健康と福祉を

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する

4. 質の高い教育をみんなに

すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し生涯学習の機会を促進する

5. ジェンダー平等を実現しよう

ジェンダー平等を達成し、すべての女性および女児の能力強化を行う

6. 安全な水とトイレを世界中に

すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する

7. エネルギーをみんなに、そしてクリーンに

すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する

8. 働きがいも経済成長も

包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する

9. 産業と技術革新の基盤をつくろう

強靭なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る

10. 人や国の不平等をなくそう

各国内および各国間の不平等を是正する

11. 住み続けられるまちづくりを

包摂的で安全かつ強靭(レジリエント)で持続可能な都市および人間居住を実現する

12. つくる責任、つかう責任

持続可能な生産消費形態を確保する

13. 気候変動に具体的な対策を

気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる

14. 海の豊かさを守ろう

持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する

15. 陸の豊かさを守ろう

陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、並びに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する

16. 平和と公正をすべての人に

持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する

17. パートナーシップで目標を達成しよう

持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

トップメッセージ	3
経営理念とSDGs	4
当社のまちづくり	5
循環型社会の形成に貢献	7
当社のSDGsの取組み	
 ナイスアースワーク	8
地球環境のために	8
採石場跡地の緑化	11
 ナイスアーバンワーク	12
周辺道路の混雑緩和や地域の活性化に貢献	12
エコなダブル発電	13
 ナイスライフワーク	14
安全・衛生	14
活力ある職場づくり	16
福利厚生	19
 ナイスハートワーク	20
地域の皆様とともに	20
雇用・ダイバーシティ	21
 ナイスフットワーク	22
環境にやさしい海上物流	22
高速道路開通に貢献	22
広域的鉄道ネットワークの形成により地域活性化に寄与	22
施工性を高め、環境負荷を低減	23
災害復旧支援活動	24
 ナイスネットワーク	26
生産性向上への取組み	26
技術開発	28
コーポレートガバナンス	29
会社概要	31

報告書について

対象組織 奥村組土木興業株式会社 [一部関係会社を含む]
 対象年度 2025年度 (2025年4月1日～2026年3月31日)
 [一部対象年度前後の活動を含む]

発行 2026年7月
 更新 2027年7月予定

お問い合わせ先

この報告書に関するご意見・お問い合わせは下記の部門で承っております
 総務部 TEL.06-6572-5273 FAX.06-6575-0752 webmaster@okumuradbk.co.jp

人や社会とのつながりを大切にして、 社会的責任を果たす

奥村組土木興業株式会社
取締役社長

奥村 安正



私たち奥村組土木興業は、1920年の創業以来、「事業を通じて社会に奉仕する」ことを念願し、国土発展のために、建材事業、ガス・土木・建築工事、リサイクル事業と幅広い分野の仕事に取り組んでまいりました。

その思いは、「ナイスワーク・ナイスコミュニケーション」の経営理念に受け継がれ、私たちは6つの「ナイスワークスピリット」を実践することで、人と社会、自然とのコミュニケーションを大切にした豊かな環境づくりを念頭に企業活動を展開してまいりました。

近年、建設業への期待は、国土強靱化、防災・減災への取組み、老朽化した社会基盤の再構築、環境保全、地域社会の安全・安心の担い手など、広範囲で多岐にわたるものへと変化し、私たちは従来よりも多くの関係の皆様とのつながりを与えていただいております。100年を超える歴史の中で築き上げた信頼を礎に、人や社会とのつながりを大切に、今後も奥村組土木興業の社会的責任を果たしていく所存です。

昨今の建設業界は、気候変動や循環型社会への対応、労働力不足など、かつてないほど複合的な課題に直面しており、社会からは、これまで以上に持続可能性への取組みが求められています。私たちはこれまで、環境負荷の低減、安全衛生の徹底、地域との共生などを重視しながら、高品質な社会基盤整備を進めてまいりました。今後は、デジタル技術やAIの活用をさらに強化し、DXによる生産性向上や業務プロセスへの挑戦を通じて、こうした課題に取り組んでまいります。

また、私たちの経営理念である6つのナイスワークスピリットをSDGsのゴールと積極的に結び付けて企業活動をすることで、持続可能な社会の実現に貢献できると考えております。社会の一員として絶対不可欠であるコンプライアンスについては、会社として間違いなく遵守できるように、過去の事例を教訓に、社員教育の徹底や技術者倫理の向上、公明・公平な企業風土の構築に引き続き尽力いたします。

時代が求める社会課題に真摯に向き合い、その解決に向けて企業活動を推進することこそが、社会的な信用を高め、奥村組土木興業の企業価値を高めることだと考えております。

関係の皆様には、本報告書を通じて当社の姿勢と取組みをご理解いただき、忌憚のないご意見をたまわりますよう、お願い申し上げます。


2026年7月

経営理念とSDGs

奥村組土木興業は経営理念に基づきSDGs達成に取り組みます。

1993年のCI(コーポレートアイデンティティ)設定に伴い、当社の経営理念「ナイスワーク・ナイスコミュニケーション」と、6つの行動規範「ナイスワークスピリット」が定められ、それ以来約30年間、社員一人ひとりが、これらの理念に基づき、日々業務に携わってきました。

当社では、事業活動をSDGsのゴールと関連付け、「ナイスアースワーク」「ナイスアーバンワーク」「ナイスライフワーク」「ナイスハートワーク」「ナイスフットワーク」「ナイスネットワーク」の6つの行動規範に基づきSDGs達成に取り組んでいます。

行動規範「ナイスワークスピリット」	テーマ	解説	関連するSDGs
ナイスアースワーク 「私たちは、地球環境を大切に して社会に誇れる仕事をします」	地域と社会	自然環境を大切に基幹施設(インフラストラクチャー)づくりを通じて豊かな環境を整え、社会に誇れる仕事をします。建設業は創造と破壊の二面性を持っています。地球環境時代にふさわしい企業になるために、常に環境保全や快適環境づくりに努めます。活動を通じて新しい価値を創造し、社会の期待に応えたいという思いが、自分たちの仕事に誇りを持つ原動力です。	     
ナイスアーバンワーク 「私たちは、都市と文化を考えた 新しい街づくりを目指します」	都市と文化	人々が楽しく快適に過ごせる環境づくりのために、培ってきた技術・経験を活かし、多様化する価値観の集まる都市、価値観の変化を映す文化を考えた質の高い仕事をします。	     
ナイスライフワーク 「私たちは、生きがい・働きがい ある人生を構築していきます」	生きがいと働きがい	人間尊重の考え方を基本に、まずは自分自身が社会生活を通じて人生の夢を実現し、叶った夢を社会や外部の方々の仕事を通じて提供していきます。自身の成長や自己実現によって、働きがいや生きがいといった心の豊かさを追求します。	   
ナイスハートワーク 「私たちは、良いパートナーシップ を育み明るい社風を創ります」	ココロと仕事	どのような仕事でも何らかのかたちで誰かと共にしているはず。自分自身を成長させていくためにも、良いパートナーシップを育み、社内外の人々にコミュニケーションの「WA」を広げ、オクムラらしさを発揮して明るい社風を創ります。	     
ナイスフットワーク 「私たちは、知恵を出し、お客様が 真に望まれる仕事に励みます」	流通と行動	知恵を出してお客様が真に望まれるものを的確につかみ、人、物、時間を有効に使い、経済を俯瞰して適正に行動することにより、お客様に、「さすがはオクムラの仕事」と満足していただけるように努力します。	     
ナイスネットワーク 「私たちは、新しい技術・情報を生 かしレベルアップに努めます」	技術と情報	新しい技術と情報を仕事に活かしてレベルアップを心掛け、的確なマーケティング戦略に基づいて新しい方法を追及する「チャレンジ精神」を大切にします。	    

当社のまちづくり

私たちは100年以上にわたる経験と培ってきた技術やノウハウを基に、土木・建築事業をはじめ、ガス・設備・舗装事業、建設資材の製造販売、環境リサイクル事業を通じて人々の暮らしを豊かにする「まちづくり」に貢献しています。



環境開発本部（土木・建築事業）

道路・橋梁・トンネル・河川・海上・上下水道・港湾・舗装・鉄道・耐震補強工事などの幅広い分野で国土開発に大きく貢献する一方、ビル、マンションなどの建築工事も手掛け、より快適な空間・住まいを創造しています。

①	土工	R5国道6号勿来BP関本町泉沢地区改良工事	発注者: 国土交通省関東地方整備局
②	土工	名神高速道路多賀スマートインターチェンジ(上り線)工事	発注者: 中日本高速道路(株)
③	鋼橋上部工	伊賀上野仮橋上部工他工事	発注者: 国土交通省近畿地方整備局
④	舗装	東海北陸自動車道 高山管内舗装補修工事	発注者: 中日本高速道路(株)

⑤	舗装	令和5年度和歌山高速道路事務所管内(特定更新等)舗装補修工事	発注者: 西日本高速道路(株)
⑥	舗装	鹿屋(6)駐機場整備土木その他工事	発注者: 防衛省九州防衛局
⑦	建築	(仮称)東成区玉津一丁目新築工事	発注者: エスリード(株)
⑧	建築	(仮称)浪速区桜川2丁目新築工事	発注者: (株)FJアドバンス



LG本部（ガス・設備・舗装事業）

私たちの生活に欠かせないガス・電気・水道・電話などのライフラインの構築と保守にかかわる事業を行っています。ガス本支供給管工事、維持・保全業務、ガス内管工事、住宅設備機器工事、空調設備工事、太陽光発電設備工事、舗装本復旧工事などで、エネルギーを安定して供給するための最新技術と万全の施工体制によりお客様の要望にお応えし、社会基盤の整備に貢献しています。



ガス供給施設保守点検



建物内ガス配管工事



ガス管入替工事(非開削)



舗装復旧工事



エネファーム(家庭用燃料電池)設置工事



太陽光発電パネル設置工事

プロダクト本部（建設資材の製造販売・環境リサイクル事業）

官公庁やゼネコン、一般建設会社など幅広いお客様に対して「砕石・骨材の販売」、「アスファルト合材の製造販売」、「建設副産物の再資源化」という主に3つの事業を展開しています。特に建設発生土やアスファルト・コンクリート廃材などの建設副産物を資源として再利用する事業は、資源の有効活用、環境保全の理念に基づいて「循環型社会」の形成を推進し、持続可能な社会の実現に貢献しています。



大阪・関西万博 静けさの森への骨材供給



骨材運搬用ガット船「とこわか」



神戸かるもアスコン合材工場

循環型社会の形成に貢献

当社では、3R(リデュース・リユース・リサイクル)を実践して、循環型社会の形成に貢献しています。

「建設資材の製造」、「建設工事」、「建設リサイクル」のすべてに取り組んでおり、当社で製造したアスファルト混合物を高速道路やガス管工事跡の舗装工事に使用する一方で、アスファルト舗装のリニューアル工事で発生するアスファルト廃材をアスファルト混合物の材料として再生しています。

コンクリート廃材についても同様に、取壊しから破碎、再生砕石の生産までを行い、再資源化に取り組んでいます。



ナイスアースワーク

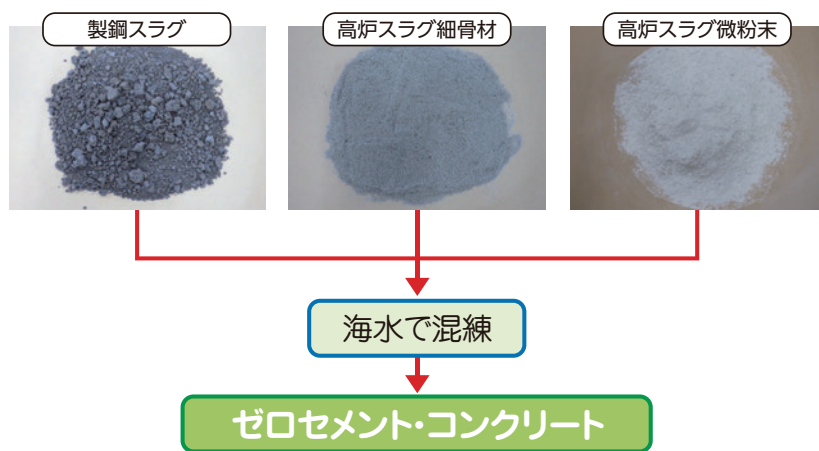


CO₂排出量削減、資源の有効利用等、地球環境に配慮した事業活動を行い、持続可能な社会の実現を目指します。

地球環境のために

ゼロセメント・コンクリートの開発

CO₂の排出量を削減するコンクリートとして、セメントを全く使用しない「ゼロセメント・コンクリート」を開発しました。ゼロセメント・コンクリートは、産業副産物である鉄鋼スラグを骨材や結合材に使用しているため、一般的なコンクリートと比較してCO₂排出量を90%以上削減できます。また、リサイクルによる資源の有効利用や、天然資源の保護にも貢献します。



施工現場：道の駅美山ふれあい広場



施工現場：PR看板設置

ポリプロピレン繊維補強コンクリート (PPFRC) の舗装への適用に関する研究

国土交通省近畿地方整備局が主宰する新都市社会融合創造研究会のテーマとして採用された、近畿大学の東山浩士教授がプロジェクトリーダーを務める「ハイブリッド型繊維補強コンクリート舗装に関する研究プロジェクト(2021年7月～2024年3月)」に、幹事会社として参加し、現在もコンクリート舗装の更なる長寿命化と環境負荷低減を目指して研究しています。

研究の結果、コンクリートにポリプロピレン繊維を混入することで、普通コンクリート舗装に比べて疲労寿命(耐久性能)が延びることが確認されました。さらに、設計寿命を60年と設定した場合、版厚を約10%低減でき、CO₂排出量は、普通コンクリート舗装に対して約70%削減できることがわかりました。

また、鉄筋を使用することなく施工できるため、1車線規制での施工が可能となり、供用中の道路の維持修繕での適用性が格段に向上し、インフラの長寿命化にも期待できる技術となっています。



ポリプロピレン繊維



施工状況 (スリップフォーム工法)



施工現場：ケイコン(株)淀 MS センター

ナイスアースワーク

ナイスアーバンワーク

ナイスライフワーク

ナイスハートワーク

ナイスフットワーク

ナイスネットワーク



CO₂ 排出量を削減した実施事例

低燃費型建設機械の使用



ハイブリッドバックホウ導入
【堺リサイクル工場】

太陽光発電システムの設置

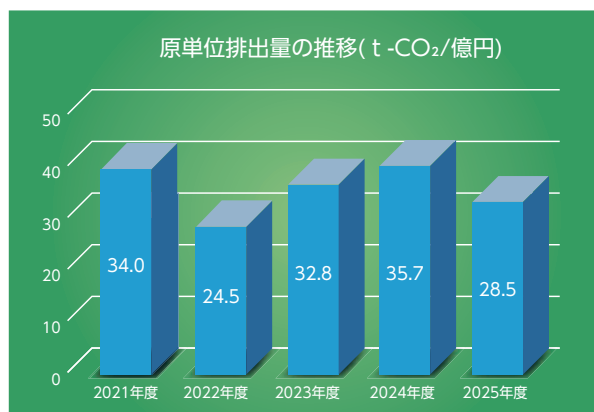


塚口宝来寮 太陽電池パネル設置状況

(環境開発本部管轄全国主要工事における概算値)

建設工事に伴うCO₂排出量削減への取組み

地球温暖化対策推進法に基づく地球温暖化対策計画では、日本は2035年度、2040年度において、温室効果ガスを2013年度からそれぞれ60%、73%削減することを目指しています。当社もその目標に資するべく建設工事に伴うCO₂排出量削減に取り組み、ここ数年の排出状況においても2013年度から約60%のCO₂排出量削減を達成しています。これも、職員ならびに協力会社作業員に対する啓蒙活動や省エネ重機等の使用、施工現場のDX化に積極的に取り組んできたことによるものです。今後もより一層のCO₂排出量削減に取り組み、社会的責任を果たしてまいります。



環境に優しいガラス砂を販売

天然砂の代替品として利用できるガラス砂「商品名:クリスタルストーン・サンド」を販売しています。

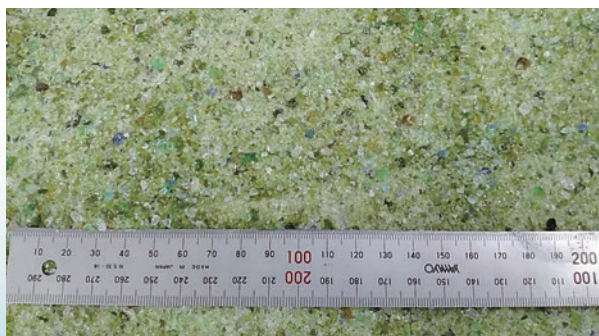
ガラス砂とは、廃棄物として処分されていた色付廃ガラスびんを破砕からエッジレス加工(角取り)し製造したものです。エッジレス加工がされることで、ガラスの持つ鋭利な角はすべて削りとられているので安全・安心な素材です。公益財団法人日本環境協会のエコマーク商品であり、大阪府と奈良県のリサイクル認定商品にもなっています。

製品について

- ・ガラス質のため吸水が少なく、現場施工中に突然の降雨等があっても水分の影響を受けにくい性状です。
- ・ガラス砂はびんの色である緑色系のため、地下埋設物周辺の埋戻し材として使用した場合、数年後の再施工時に、そこに埋設物があることを示せるため、注意喚起になります。
- ・トンネル工事で使用した際に、天然砂より粉塵が少ないと作業員から好評でした。



「一般国道168号阪本トンネル工事」における納入状況



ガラス砂



「大阪府営新金岡外構整備工事」における納入状況

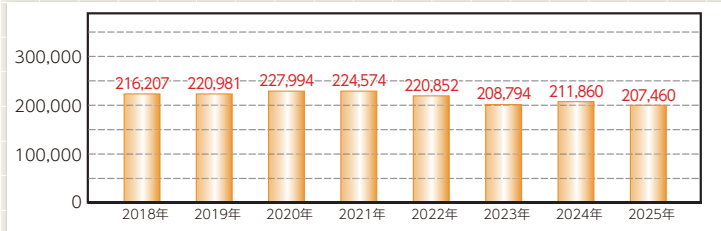
事務所における省エネ対策

2025年度も各事業所において省エネ、節電に努めました。「節電と暑さ対策」を同時に進めるため、クールビズ期間の設定(5月1日～10月19日)を行いました。特に本社ビルでは、不要な空調、照明、各種機器の電源を切るなどの「強制的に消す・止める」活動を継続しています。

右記のグラフは、本社における過去8年間のエネルギー使用量の経過を示したものです。この8年間、電力・ガス使用量ともにほぼ安定しています。

水道使用量は、2019年から増加していますが、その原因のひとつは、植栽の水枯れ防止のために自動散水を始めたことです。

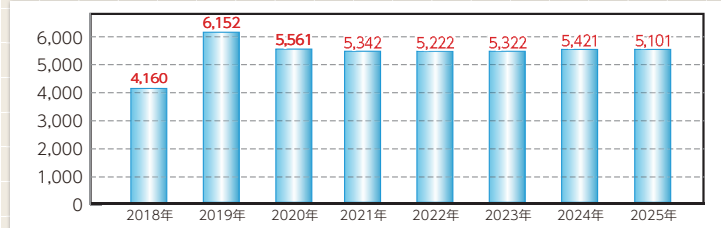
I. 2018年～2025年 電力量(単位:kw)



II. 2018年～2025年 ガス量(単位:m³)



III. 2018年～2025年 水道量(単位:m³)



機密書類回収ボックスの設置

本社において、シュレッダーの代わりに機密書類回収ボックスを設置しています。シュレッダーと異なり電力が不要で、回収された紙は、溶解処理をしてリサイクルすることができます。

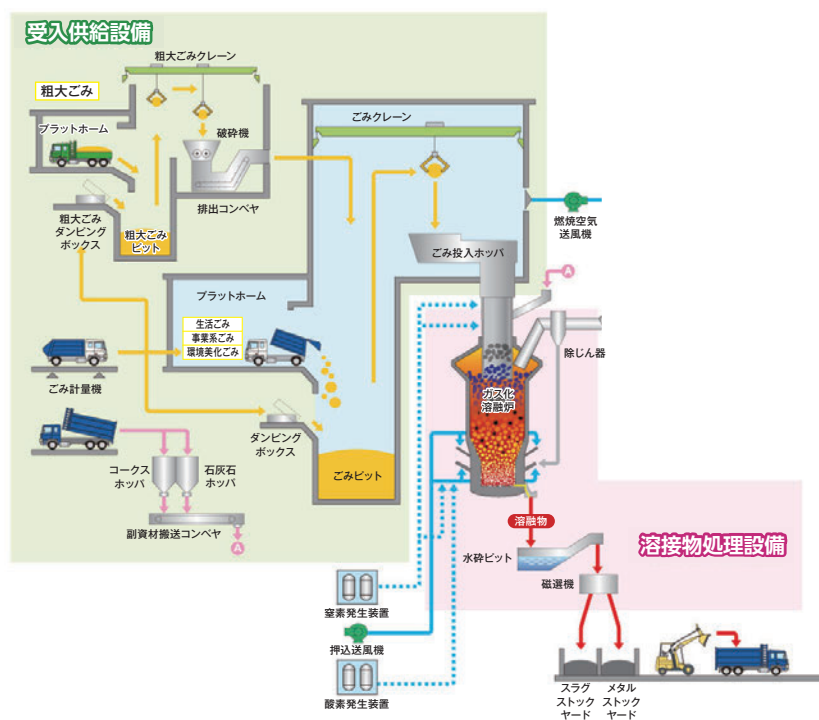
環境にやさしい循環型スキーム



一般廃棄物から製造した溶融スラグの有効利用

家庭から排出される“ごみ”(一般廃棄物)を安定的、経済的、衛生的かつ安全に処理するため、溶融処理施設が全国で建設されています。焼却灰等を1300度以上の高温で溶融して冷却し、固化したものは、「溶融スラグ」と呼ばれています。

当社は、一般廃棄物の溶融処理施設を運営する「(株)堺クリーンシステム」にS PC構成会社として参加するとともに、ここで製造した「溶融スラグ」をアスファルト混合物用の細骨材等の建設資材として活用しています。



採石場跡地の緑化

碎石生産事業は、私たちの日常生活や産業活動に必要な建物や道路などをつくるために不可欠な材料を供給するという大切な使命を担っておりますが、一方で自然破壊を伴います。当社では、自然環境保護、景観保全の観点から、山をもとの姿にもどす責任があり、採石場跡地の緑化を行ってきました。

1949年から1993年まで40年以上岩石を採取し、鉄道の道床バラストや道路用路盤碎石の生産、関西国際空港への土砂供給を行った兵庫県姫路沖の「家島採石場跡地」では、植樹の効果が現れ、緑の山へと回復しつつあります。



家島採石場跡地の緑化のり面

ナイスアーバンワーク



工事を通して、堅固な社会基盤の整備に貢献しています。

周辺道路の混雑緩和や地域の活性化に貢献

【名神高速道路 多賀スマートインターチェンジ(上り線)工事】

多賀スマートインターチェンジの新設事業は、高速道路の有効利用や地域活性化を促進するために事業化されました。この事業により、高速ICまで10分でアクセス可能な圏域が拡大され、物流の円滑化による生産性の向上が期待されます。また、国道8号を利用する物流交通が分散されることにより、生活交通と物流交通が分離され、周辺道路の混雑緩和も期待されます。さらに、周辺地域の新たな玄関口となることで、多賀大社を経由する彦根城や湖東三山等への周遊型観光ルートが形成され、観光拠点間の交流促進や連携が強化されるなど、周辺地域の活性化も期待されます。

多賀スマートインターチェンジは令和5年に開通した「下り線 (SA・PA接続型)」に続き、当工事の「上り線 (本線直結型)」も令和8年1月31日に開通しました。

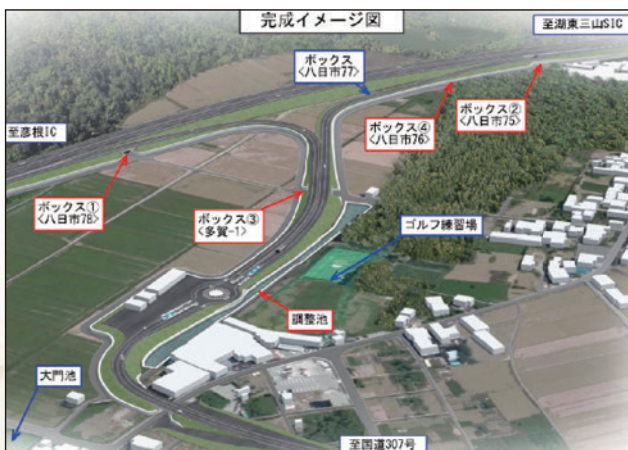
当工事では、土工から舗装工事まで一式を施工しました。農耕地区であることから、工事期間中は農業用水および排水の確保には十分配慮する必要がある上、本線・耕作地・ゴルフ練習場等も隣接していることから、飛散防止や粉塵対策も重点的に実施する必要性がありました。また、飛球防護工が追加となったことによる工程の見直しや、本線直結型のスマートインターチェンジ構造であることから供用線際での作業が発生し、一般車への影響にも十分に留意する必要などが発生しました。これらの課題に対して、地域住民や関係機関との合意形成、スムーズな施工を行えるような工程管理、設計・照査・計画の連携体制の構築などを適宜実施することで、開通までに無事故で完工することができ、地域の未来を支えるインフラ整備に大きく貢献することができました。

【主要工種】

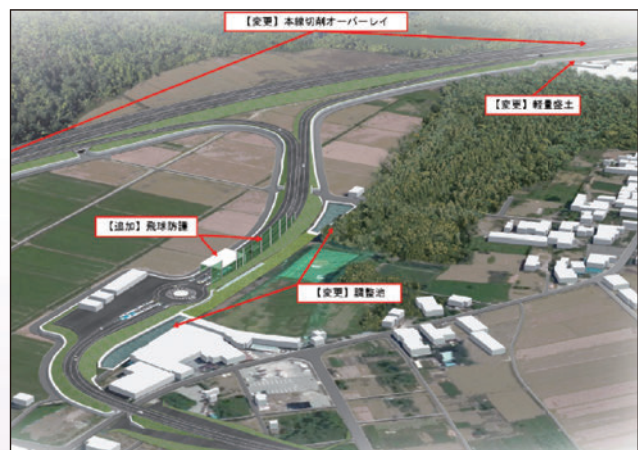
- ・土工 120,000m³
- ・軽量盛土工 1,950m³
- ・函渠工 4基
- ・飛球防護工 一式
- ・舗装工 20,000m²
- ・料金所施設工 一式
- ・用排水工 6,200m
- ・のり面工(植生) 9,100m²
- ・のり面工(ブロック積) 4,480m²
- ・生コンクリート 4,996m³
- ・アスファルトコンクリート 4,555t



完成



着工前の完成イメージ図



変更・追加工事

ナイスアーバースワーク

ナイスアーバンワーク

ナイスライフワーク

ナイスハートワーク

ナイスフットワーク

ナイスネットワーク

エコなダブル発電

エネファームとは天然ガスから水素を取り出し、空気中の酸素と反応させて電気をつくるとともに、その際に発生する熱を給湯や暖房に利用する環境や家計にやさしい家庭用燃料電池コージェネレーションシステムのことです。

このエネファームと太陽光発電の「ダブル発電」は、エネファームで発電した電気を優先して使用し、不足分は太陽光で補う仕組みになっており、余った電気は売電できるメリットもあります。

そのため、光熱費について従来システムと比較した場合、エネファーム単体でも約60%削減できますが、「ダブル発電」では約75%の削減が可能です。

また、環境面でも優れており、エネファーム単体でも、年間の一次エネルギー消費量は約30%、CO₂排出量は約40%削減できますが、「ダブル発電」では、一次エネルギー消費量は約70%、CO₂排出量は約90%の削減が可能です。

「ダブル発電」により、災害等による停電の際にも自立発電で電気を使用することができます。

エネファームと太陽光発電の「ダブル発電」は、経済性や環境性能が優れていることに加え、災害時の有効性についても高い評価を得ています。



エネファーム



太陽光発電パネル設置状況



太陽光発電パネル設置施工状況

ナイスライフワーク



安全で衛生的な環境のもと、働きがいを感じながら仕事に取り組める職場づくりを行います。

安全・衛生

環境開発・LG・プロダクトの各本部がその特性に応じた安全衛生対策を行っています。「安全はすべてに優先する」を基本理念に、社員や協力会社の皆様など、当社で働くすべての人々を財産と考え、安全で衛生的な職場環境のもとで、健康的に働けるよう努めています。

奥村組土木興業の2026年安全衛生管理計画

基本方針

職場の実態に即した安全衛生活動の推進によって、「安全は全てに優先する」を行動で示し、「決めたことを守り・守らせ」、「危ない作業は絶対にしない・させない」の実践定着を図る。

目標

安全 ●労働災害ゼロ ●交通事故ゼロ ●第三者・公衆災害ゼロ
衛生 ●全従業員健康診断受診の推進 ●特定保健指導対象者の低減
●高ストレス者の低減

重点実施項目

- 健康経営の推進
- 予定外作業による労働災害の防止
3H（初めて・久しぶり・変更）における災害の未然防止
- 職場における熱中症予防対策の徹底
- 交通事故の防止

安全衛生管理計画発表会

毎年、中央安全衛生委員会が主催者となって「安全衛生管理計画発表会」を開催し、各本部と関係会社の安全衛生管理計画を発表しています。

当日参加した安全担当者や現場所長、工場長、協力会社の代表者に対し、安全対策や衛生管理に関する基本方針や目標、具体的な実施事項の説明を行い、安全衛生管理計画の周知徹底と理解の促進を図っています。



安全衛生管理計画発表会

安全衛生パトロール

定期的な現場・工場の安全パトロールに加え、2025年10月1日から10月7日までの全国労働衛生週間中には、本社ビルをはじめ、支店・寮などの各施設の安全衛生パトロールを実施するなど、労働災害防止と安全意識の高揚に努めました。また、年間を通して、火災予防や緊急時の連絡体制等に着目して点検を行っています。



安全衛生パトロール

安全衛生大会を開催

環境開発・LG・プロダクトの各本部では、協力会社の一致団結と現場の安全衛生活動の更なる向上を目的に、安全衛生大会を開催しています。2025年の安全衛生大会では、安全表彰、安全衛生管理の取組みについての説明などを行い、快適な職場環境の形成と無事故・無災害の達成を誓いました。



プロダクト本部安全衛生大会

健康セミナー

外部講師による健康セミナーを開催しました。2025年度のセミナーは、まず、「(ゴリラにはなれないけれど…)筋肉は守れる!フレイル予防の食事」というテーマで、筋力の低下を防ぐためには、たんぱく質や糖質が必要であり、食事を工夫して十分に摂取することを学びました。次に「今日からできる!腰痛・関節痛予防のちょっとした体操」というテーマで、筋肉の緊張をとるエクササイズ等を教えていただき、健康維持に役立つ内容でした。

当社は、社員が生き生きと健康に長く働ける環境を整えるため、健康に関する積極的な取組みに努め、健康経営優良法人認定取得を目指しています。



健康セミナー

交通安全への取組み

ドライブレコーダーを全車両に搭載し、急ブレーキ等の危険運転が発生した場合はドライバーに指導を行い、安全運転教育に役立てています。また、運転する前後には必ずアルコール検知器による酒気帯びの有無をチェックし、飲酒運転根絶に取り組んでいます。

年に2回、大阪府港警察署の方を講師としてお招きし、本社にて安全運転講習会を開催しています。また、新入社員に対しては、研修の一環として、安全運転の実技講習を実施しています。

社員一人ひとりが安全運転の重要性を認識することで、交通事故の撲滅に取り組んでいます。



安全運転講習会



新入社員交通安全講習会

朝礼時の安全唱和

本社役員および従業員が一同に集まる月初の朝礼時や、各部署での朝礼時に安全唱和を行い、安全を誓っています。



安全唱和

ガット船船員の職場環境の改善

当社所有のガット船「にしじま」の船員の職場環境を考え、船内の蛍光灯を光の色や明るさを調整しやすく、目に優しいLED照明へ切り替えました。これにより、メンテナンスコストや消費電力の削減にもつながりました。

また、「にしじま」に搭載されているインターネット通信環境を3G対応機器から、4G対応機器へ切り替えました。これにより、通信速度が向上し、メールの確認や、自社システムへのアクセスを安定して行えるようになりました。

安全教育

技術系中堅社員を対象に安全体感教育を実施しています。これは、教育設備・VR等を使って事故・災害を疑似体験することで、危険に対する感受性を高めることを目的としています。参加者は、「安全帯負荷体感」や「玉掛け危険体感」などを通して職場に潜む危険性を実感し、適切に対応できる能力を養うことができます。

熱中症予防対策

熱中症予防のため空調服を導入しています。空調服は、内蔵したファンによって作業服内に空気を取り入れ、汗を気化させて、その気化熱により体温を下げるもので、熱中症予防に役立っています。



空調服を着用して作業している様子

活力ある職場づくり

研修・教育

当社では、「社員の成長が企業を発展に導く」という考えのもと、社内研修・教育制度の充実や各種社外セミナーの活用、資格取得報奨金制度の制定などにより、社員の能力・意識の向上に力を入れています。

例えば、社内研修のメニューには、新入社員研修、OJT研修、階層別研修、職種別研修などがあり、充実した支援体制をとっています。



新入社員研修



階層別研修

技術系社員に対する実践的な知識取得、資格取得のための支援

当社の技術系社員に対する研修・教育システムには、技術研修と資格取得支援講習があります。

技術研修では、社員等級に応じて、工種毎に実践的な知識やノウハウの習得を目指しています。

資格取得支援講習では、全員合格を目標に、技術士、土木施工管理技士をはじめとする各種資格取得のための支援や受験対策を行っています。



LG 本部 技術研修



環境開発本部 測量研修



LG 本部 技術研修

事務系社員に対するレベルアップやキャリアアップを目的とした教育体系の整備

業務のレベルアップやキャリアアップを目的とした研修があり、建設業で働く事務職として必要な各資格取得のための支援も行っています。

社内提案制度

ボトムアップの体制づくりのため、1993年2月に「I&I 社内提案制度」が発足しました。仕事の効率化や技術の向上、新工法開発の端緒となるような工夫が数多く生まれており、日常の作業から創意工夫を行い、アイデアを生み出そうとする意識が根付くなど、社内の活性化につながっています。

※I&I…Imagination (創意)とInvention (工夫)の意味

優秀提案例

テーマ名：床版防水工舗装接着材塗布機械

床版防水工の舗装接着材は、人力で塗布するため、塗布量は職人の技量に頼るところがあり、橋梁当たりの使用量を空袋で確認するため、全面積を均一に塗布できているか確認できなかった。また、作業員が溶融窯から作業位置まで何回も舗装接着材を運搬する必要があり、怪我や火傷の恐れがあるうえ、人件費と時間も掛かっていた。

そこで、路面標示用溶融材施工機を改良し、床版防水工舗装接着材塗布機械を製作した。機械には速度計や塗布専用の刷毛を装備し、流下させる開口幅を調整できる構造とし、材料容器を大きくして接着材を新たに入れる回数を減らした。機械に接着材を入れる開口幅を調整・固定し、時間当たりの材料流下量を一定にして、設計使用量になる施工速度を決定することで、舗装接着材を全面的に均一に塗布でき、高品質な床版防水工が施工できるようになった。また、舗装接着材の運搬回数を少なくできることで、作業員の怪我や火傷のリスクも減り、人件費を削減することもできた。



改善前



改善後

離れた拠点間で円滑なコミュニケーションを実現…テレプレゼンシステム「窓」

現場事務所と支店、工場と本社、支店間、事業所間のように離れた拠点間であっても、大型ディスプレイを通してまるで同じ部屋にいるような感覚で業務遂行を可能にするテレプレゼンシステム「窓」を全社で導入しました。

この「窓」は電話やWeb会議と異なり常時接続されているため日常的な会話が可能です。また、ほぼ等身大に表示される、相手の目を見ながらの会話ができる、同時に話しても会話がぶつからない、身振り手振りが伝わる、などの特徴を有します。

環境開発本部では現場事務所の日常的な支援や支店間の事務業務連携に、LG本部では拠点間のコミュニケーション促進を目的に2024年9月より順次導入を開始し、北は札幌から南は高知まで全国15拠点に導入を完了しました。「窓」導入により、拠点間の何気ない会話が増え、電話・Web会議の利用・出張回数が減少するなど、全体的に好評を得ています。中には「窓」がない状態には戻れないと言う拠点もあります。

今後もコミュニケーションの活性化とそれによる業務効率の向上のため、「窓」の運用サポートおよび導入拡大を図る予定です。



本社にて



ナイスワークビルにて

ナイス
アース
ワーク

ナイス
アーバン
ワーク

ナイス
ライフ
ワーク

ナイス
ハート
ワーク

ナイス
フット
ワーク

ナイス
ネット
ワーク

福利厚生

休暇制度

法定の福利厚生制度(産前産後休暇、育児休暇、介護休暇、育児短時間勤務など)、慶弔関係の休暇制度に加え、社員の生活様式の多様化に対応するため、年次有給休暇を半日単位で取得できる制度を採用しています。

永年勤続表彰制度

毎年、勤続10年の社員に対して表彰を行い、特別休暇(3日間)の付与と旅行券を贈呈しています。また、勤続25年の社員に対しては特別休暇(5日間)の付与と金一封の贈呈を行っています。



永年勤続表彰(10年)

社員持株会

社員の財産形成を援助するため、給与の一部(会社からの奨励金に加わります)を社員持株会に拠出することで、自社株式を取得できる制度を設けています。

財形貯蓄奨励金制度

社員の財産形成を援助するため、財形貯蓄をする社員に対し、会社から奨励金を拠出しています。

海外視察研修

7年目を迎える社員を対象に、グアムで海外視察研修を行っています。現地の発電所を視察し、海外のエネルギー事情への理解を深めるとともに、異国の文化や建造物に触れる貴重な機会になっています。



海外視察研修

社内融資制度

社員に対し、生計の安定や住宅取得、子供の教育などで必要となる資金を融資するため、社内融資制度を設けています。

社員の健康管理

心身両面にわたる健康づくりは、社員にとっても会社にとっても大切なテーマです。当社では、労働安全衛生法に基づく定期健康診断に加え、腫瘍マーカー・婦人科検診や動脈硬化検査・骨密度検査・インフルエンザ予防接種の費用を補助することで、社員の健康づくりを支援しています。

また、医療機関による「メンタルヘルスの相談窓口」を設けているほか、全国どこでも無料で健康相談やカウンセリングを受けることができるEAPサービスを導入しています。さらに、全社員を対象としたストレスチェックも実施しています。

社員寮、借上社宅

本社近くや兵庫県尼崎市、横浜市、広島市に社員寮を保有しています。人事異動で転居が必要になった場合には、借上社宅を用意する場合もあり、社員に負担がかからないよう整備しています。



社員寮「ハーバーゴールド寮」
(大阪市港区)



総合福利厚生サービスを導入

2025年10月から総合福利厚生サービス「ベネフィット・ステーション」を導入しています。学び、スポーツ、育児、介護、健康、レジャー、日帰り温泉、グルメ、ショッピングなど、140万件以上のコンテンツがあり、毎日の暮らしに役立つサービスを利用できます。

ナイスハートワーク



地域の皆様とともに歩むという想いのもと、様々な社会貢献活動を行っています。
また、女性社員や定年再雇用者など多様な人材が活躍できるようダイバーシティ経営を推進しています。

地域の皆様とともに

現場見学会を開催

学生を対象に、現場見学会や出前授業を行いました。
当日は、施工現場の見学だけでなく、ドローンやレーザースキャナー等の実際の機器を用いて体験していただきました。



岡山工業高等学校の現場見学会
和歌山高速道路事務所管内（特定更新等）
盛土補強工事



高知工業高等学校の現場見学会
高知自動車道 井床橋他4橋耐震補強工事



松江工業高等専門学校の現場見学会
安来道路 島田工事

道路清掃を実施

会社の周辺道路の清掃を行っています。大阪マラソン開催前の1週間に、美しいまちづくりのため公共スペースを清掃する「大阪マラソンクリーンUP作戦」に参加して、本社やナイスワークビル周辺で道路清掃を行いました。



本社周辺での道路清掃の様子

三社神社夏祭りに協賛

地元の神社では毎年夏祭りを開催しており、子供たちがナイスワークビルまで来て、舞を披露してくれます。当社はナイスワークビルで休憩場所を提供しています。



ナイスワークビルにて

津波避難協定

本社ビルとナイスワークビルが大阪湾岸エリア(大阪市港区)にあるため、地域と一体となって津波災害や水害に備えていかなければなりません。

そこで、地域全体の安全のため、2012年から当社は、大阪市・地域の町会との間で、「津波災害又は水害時における指定緊急避難場所としての使用に関する協定書」を交わしています。

その目的は、津波災害が発生したり、その恐れが生じたりしたときに、本社ビルとナイスワークビルを地域の人たちの一時的な避難施設として活用することによって、一人でも多くの命を守ることです。



本社の「津波避難ビル」表示

団体献血を実施

毎年2回、本社で団体献血を実施しています。1976年8月に奥村組土木興業献血会が発足してから延べ社員約5,200名が参加しています。

ナイスアースワーク

ナイスアーバンワーク

ナイスライフワーク

ナイスハートワーク

ナイスフットワーク

ナイスネットワーク

雇用・ダイバーシティ

採用への取組み

【社員の成長が企業を発展に導く】

当社にとって社員はかけがえのない財産であり、社員一人ひとりの成長こそが企業を発展、飛躍させる原動力であると考えています。社員の採用にあたっては、面接時に本人の個性を十分に引き出すことができるよう配慮するとともに、法令を遵守した公正な選考を心がけています。

【新卒採用実績】

2024年度	新卒採用実績	技術職51名	事務・営業職	3名
2025年度	新卒採用実績	技術職31名	事務・営業職	4名
2026年度	新卒採用実績	技術職36名	事務・営業職	7名
2027年度	新卒採用予定	技術職56名	事務・営業職	7名

インターンシップ

次世代を担う若者に対する職業観の育成を主な目的として、毎年数名のインターンシップ生を受け入れています。2週間程度のプログラムを通して、仕事内容を理解し、職業観を身に付けることができます。また、建設業界の理解を深めることを目的に、短期間のインターンシップや現場見学会を実施し、多くの学生に参加していただいています。

女性技術者の活躍

女性活躍推進法に基づき、女性技術者の採用を目的とした行動計画を策定しています。

当社でも女性の職域拡大を目指し、2019年から積極的に女性技術者の採用に取り組み、2026年4月時点で13名の女性技術者が活躍しています。当社は(一社) 土木技術者女性の会のサポーター企業でもあり、女性技術者には入会支援を行い、現在12名が入会しています。

また、女性の事務・営業系総合職の新卒・中途採用に加え、一般職から総合職への登用も進めており、女性が活躍できるフィールドが広がっています。

女性が働きやすい職場環境をつくることは、性別を問わず誰にとっても働きやすい職場環境の創出につながります。当社では女性がコンプライアンスやハラスメントに関して相談しやすいように、外部の女性弁護士と契約し、安心して働ける環境づくりに努めています。今後も職場環境の整備を積極的に進めていきます。



女性技術者活躍の様子

高齢者の雇用確保

60歳定年後も引き続き社員が活躍できるように再雇用制度を運用しています。この制度では、社員が再雇用を望む場合、定年後も継続して65歳まで働くことができます。また、近年は70歳までの就業機会確保にも取り組んでいます。

障がい者の雇用

2019年に障がい者雇用における新たな取り組みとして、大阪泉佐野市に「泉佐野農園作業所」を開設しました。作業所では4名の障がい者スタッフと1名の農園長が働いており、主に胡蝶蘭の栽培に取り組んでいます。また、2023年には「東大阪農園」を開設し、6名の障がい者スタッフと2名の農園長が働いています。全天候に対応できる完全屋内型の水耕栽培農園です。



泉佐野農園作業所の胡蝶蘭

外国人の雇用

2026年4月時点で、10名の外国籍の正社員が技術者として活躍しています。国籍に関係なく、均等な就業機会を提供し、技術教育の促進にも取り組んでいます。

日本文化へ適応できるようにサポートし、働きやすい職場環境づくりを実現します。

「くるみん認定」「えるぼし認定」を取得

「子育てサポート企業」として「くるみん認定」を、「女性の活躍推進に関する取組みが優良な企業」として「えるぼし認定」を取得しています。

当社は今後も安心して子育てができ、性別に関係なく働きやすい環境を整えていきます。



ナイスフットワーク



ガット船による骨材の海上輸送、都市間のアクセス向上につながる高速道路の施工等でお客様の要望にお応えしています。
また、災害時には復旧作業に携わり、被災地が一日も早く日常を取り戻すよう努めています。

環境にやさしい海上物流

最新鋭の骨材運搬用ガット船 「にしじま」「とこわか」

当社は、最新鋭の骨材運搬用ガット船を2隻保有しています。

このガット船は、グループ会社の奥村組砕石生産(株)の西島砕石工場で生産した砕石・砕砂等の骨材を、主に大阪湾ベイエリアの荷揚場・工事現場・生コンクリート工場などに届けるための海上輸送を担っています。ガット船の最大積載量は1,700tで、10tダンプトラック約200台分の骨材を一度に輸送できるため、ダンプトラックによる陸上輸送と比べてCO₂排出量を70%~80%程度削減する効果があり、環境にやさしい物流網の構築に貢献しています。

また、両船は、従来比で約12%の燃料低減効果があるエンジンを採用し、船体の外装には、海洋汚染防止対策として加水分解型防汚塗料を使用しています。



ガット船「にしじま」



ガット船「とこわか」

高速道路開通に貢献

当社は渋滞緩和や物流の効率化など、様々な効果が期待される高速道路の施工に日本各地で携わり、多くの高速道路の開通に貢献しています。



首都圏中央連絡自動車道（海老名IC~相模原相川IC）開通式



新名神高速道路（高槻JCT~川西IC）開通式

広域的鉄道ネットワークの形成により地域活性化に寄与

大阪モノレール 支柱建設工事（桑才新町工区）

大阪モノレール延伸事業は、門真市-松生町-門真南-鴻池新田-荒本-瓜生堂の区間で事業化されたもので、大阪都心部から放射線状に形成された既存鉄道を環状方向に結ぶことにより、広域的な鉄道ネットワークが形成されます。今回の延伸により、Osaka Metro長堀鶴見緑地線・JR学研都市線・近鉄けいはんな線・近鉄奈良線の4路線と新たに結ばれ、10路線とのネットワークが形成されます。その結果、広域的鉄道ネットワーク機能の強化が図られ、延伸沿線地域の活性化にも寄与します。

当社が施工した大阪モノレール 支柱建設工事（桑才新町工区）は、門真市駅から門真南駅（仮称）の約566mの区間で、工期は2020年12月~2024年12月までの約4年間、2径間連続軌道桁・単純PC軌道桁・3径間連続鋼軌道桁の21基の下部工の施工を行いました。

また当工事は大阪府 都市整備部長からの表彰に加え、着手から竣工に至るまで無災害で施工を行ったことにより、厚生労働省からも表彰をいただきました。



ナイスアースワーク

ナイスアーバンワーク

ナイスライフワーク

ナイスハートワーク

ナイスフットワーク

ナイスネットワーク

施工性を高め、環境負荷を低減

未来の道路を支える「中温化アスファルト混合物」

当社が本格導入を進める「中温化アスファルト混合物 (Warm Mix Asphalt: WMA)」は、従来の高温アスファルト混合物に比べて約30℃低い温度で製造・敷設できる舗装材です。加熱温度の低減により、製造過程でのCO₂排出量を約14%削減できます。^{※1}

WMAの製造方法には、

- 1) 特殊添加剤 (発泡系・粘弾性調整系・潤滑剤など) を用いる方法
- 2) 専用装置でアスファルトを発泡させる方法

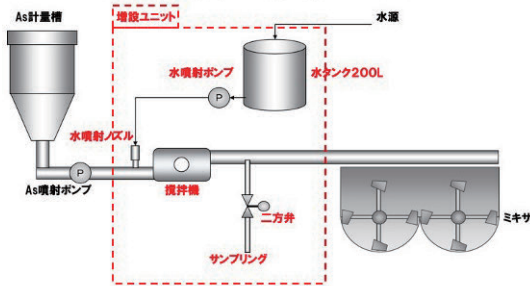
の2通りがあります。当社では後者の「機械式フォームド装置」を採用し、発泡させたフォームドアスファルトを用いてWMAを製造しています。

高温アスファルトに少量の水を高圧で噴射すると、水が蒸気となってアスファルトを瞬時に発泡させ、微細な泡を生成します。これにより次の効果が得られます。

- ① 微細泡による潤滑作用で製造時の混合性が向上
- ② ベアリング効果により施工時の締固め性が向上
- ③ 施工後、泡が消失することで品質が安定

フォームド技術は「水」というシンプルかつ再生可能な資源を活用しながら、施工性と環境性を両立する革新的手法です。

[機械式フォームド装置]



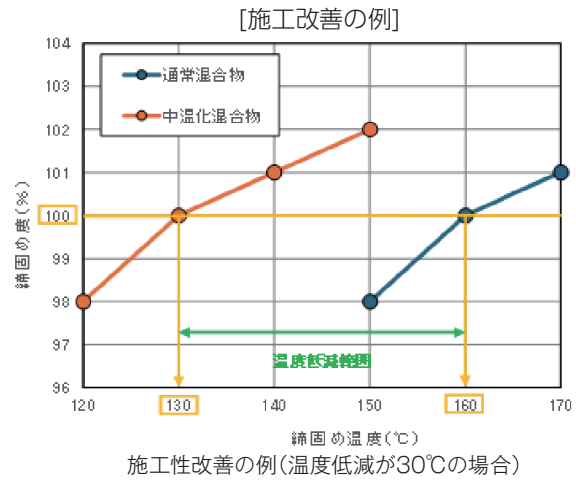
動画はこちらから

施工性改善により従来の混合物より30℃低い温度でも同様の締固め度が得られるため、施工可能時間を延長できます。また、長距離の運搬も可能になります。

グラフは、締固め温度と締固め度の関係を通常混合物と中温化混合物とで比較した例です。100%の締固め度が得られる温度が30℃下がっているため、同じ温度で製造した場合には、施工可能な温度範囲が拡大されることとなります。加えて、当社ではプラントで使用する燃料をA重油から都市ガスに転換しているため、製造過程でのCO₂排出量を約28%削減しています。^{※2}

大阪府では、「令和5年度 大阪府グリーン調達方針 (II 公共工事編)」にて、資材部門として品目分類で「中温化アスファルト混合物」が対象となっており、アスファルト舗装の表層・基層材料として、その使用を推進しています。

本技術のさらなる改良と現場での最適運用を通じ、持続可能なインフラ整備に貢献してまいります。



※1 日本アスファルト合材協会「アスファルト混合物の紹介」

<https://www.jam-a.or.jp/asphalt/introduction.html>

※2 日工製バーナ「NTB-6」と「NTBG-6」で昇温温度180℃ (0℃→180℃) の場合の比較例 [CO₂排出量]

NTB-6 (A重油) : 0.025 (t-CO₂)、NTBG-6 (都市ガス) : 0.018 (t-CO₂)

災害復旧支援活動

災害発生時には事業を通じて蓄積した経験やネットワークを活かし、積極的に復旧支援活動を行っています。

震災時のガス復旧工事

2011年に発生した東日本大震災においては、(一社)日本ガス協会からの要請を受けた大阪ガス(株)より、当社のガス工事部門に復旧応援隊の出動依頼がありました。2011年3月23日から5月5日までの間、協力会社を含む115名が、仙台市ガス局、石巻ガス(株)、塩釜ガス(株)の供給エリアの都市ガス復旧支援活動にあたりました。

また、2016年に発生した熊本地震においても、当社のガス工事部門に対し同様の出動依頼がありました。2016年4月18日から5月1日までの間、協力会社を含む76名が、西部ガス(株)の供給エリアの都市ガス復旧支援活動にあたりました。

余震が続く厳しい環境の下で、地元の方々からの早期ガス復旧の願いを感じながら、外管・内管の修繕工事・開栓作業に従事し、無事故で任務を完遂することができました。



東日本大震災 ガス復旧工事



熊本地震 ガス復旧工事

豪雨災害時等の復旧支援活動

企業の社会的責任として、多くの発注者と災害協定を結ぶとともに、災害発生時には、積極的に復旧支援活動を行っています。

令和4年12月・令和5年5月・令和6年7月の高速道路のり面崩落現場では、高速道路の早期復旧に協力し、西日本高速道路(株)から感謝状や表彰状をいただきました。



令和4年12月
高速道路のり面崩落事象応急復旧工事



令和5年5月豪雨災害
写真は西日本高速道路(株)様より提供



令和6年7月
浜田自動車道本郷地区のり面応急復旧工事



令和4年12月高速道路のり面崩落事象
早期復旧に対する感謝状



令和5年5月高速道路のり面崩落事象
早期復旧に対する表彰状



令和6年7月高速道路のり面崩落事象
早期復旧に対する表彰状

豪雨災害時の被災地支援活動

2021年8月の豪雨災害時には広島県山県郡に、また、2022年8月の豪雨災害時には石川県小松市に、支援物資として軍手・一輪車・マスク・スコップ・ブルーシート等を提供しました。



支援物資提供の様子



小松市長から感謝状

2023年7月と2025年8月には、大雨の影響で給水が濁り、飲み水として使えなくなったため、熊本県上益城郡御船町に給水車から町民に配る際に使用するウォータータンクを寄贈し、感謝状を授与されました。

また、2024年2月には、地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）を活用した寄付も行いました。



感謝状

2025年8月の豪雨災害時には熊本県上益城郡甲佐町に、支援物資としてウォータータンクを寄贈し、感謝状を授与されました。



感謝状

ナイスネットワーク



施工現場でのICT活用や岩盤切削機の共同開発等、新しい技術を積極的に活用し、より効果的で環境に優しい未来を築きあげることを目指しています。

生産性向上への取組み

現在、建設業界では担い手不足が深刻化しており、現場の生産性向上が急務となっています。国土交通省はこれに対応するため、「i-Construction2.0」を推進しており、「施工のオートメーション化」、「データ連携のオートメーション化」、「施工管理のオートメーション化」を三本柱とし、2040年度までに2023年度比で生産性を1.5倍に高めるという目標を掲げています。当社においても、最新鋭の計測機「レーザートラッカー」を積極的に活用し、様々な生産性向上に取り組んでいます。

舗装出来形面管理の効率化

従来の舗装品質管理では、一部の測点のみを評価する「点管理」が主流でしたが、より高品質な舗装工事実現のために舗装面全体を評価する「面管理」への移行が求められてきました。この面管理には地上型レーザースキャナー(TLS)が用いられてきましたが、計測結果のデータ処理や評価に数日を要し、例えば700m・4車線規模の現場では、結果が判明するまでに約1週間を要していました。そのため、連日施工が進行する現場では、全ての層に対して面管理を実施することが困難でした。

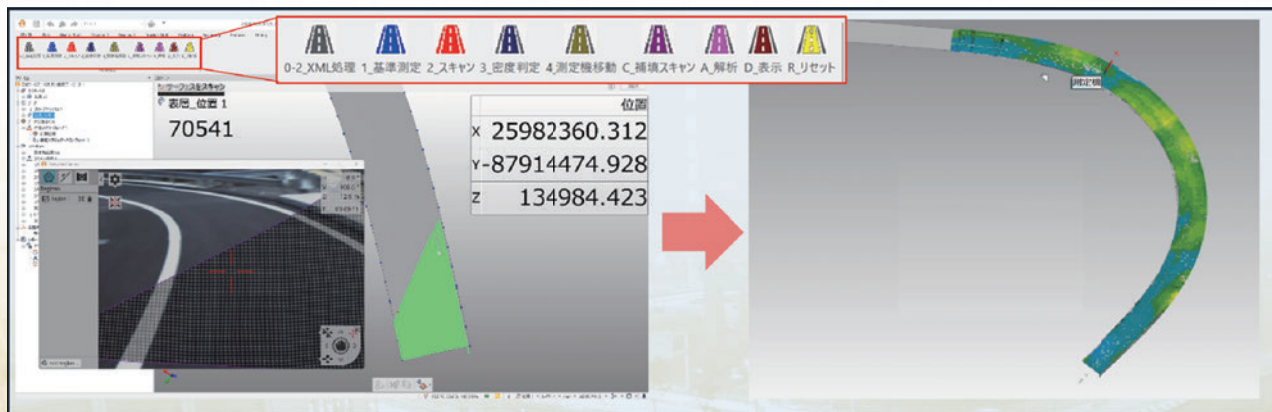
この課題に対し、当社では「レーザートラッカー」を導入しました。レーザートラッカーは計測範囲を任意に設定できるため、必要な箇所のみデータを取得でき、TLSに比べてデータ処理時間が大幅に短縮されます。さらに、舗装出来形の面管理に特化した専用アプリケーションを自社開発し、計測から評価までの操作性を向上させました。その結果、計測後わずか約1分で面評価が完了し、施工完了直後に即時評価が可能となりました。これにより表層だけでなく舗装体全層への面管理も現実的に実施可能となり、作業時間の大幅短縮による生産性向上が実現しています。



多賀SIC(上り線)工事



レーザートラッカーによる点群計測



PC画面と操作アイコンおよび面評価のカラーマップ

ナイスアースワーク

ナイスアーバンワーク

ナイスライフワーク

ナイスハートワーク

ナイスフットワーク

ナイスネットワーク

鋼板巻立て工の効率化

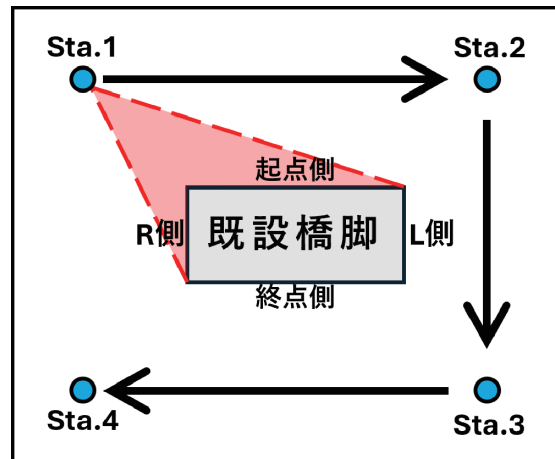
鋼板巻立て工（※既設橋脚の周囲に鋼板を設置して、隙間にグラウトを充填する工法）による橋梁の耐震補強では、既設橋脚周囲の不陸計測が不可欠です。不陸とは水平でないことを意味し、従来は足場を組み、高所でメジャーや下げ振りを用いて計測し、紙に記録したのちCADで図面化していましたが、作業工程が多く時間と人手を要するうえ、高所作業による安全リスクや、計測者の熟練度による精度のばらつきが課題でした。

この課題に対し、レーザートラッカーと専用アプリを組み合わせた新たな計測・設計支援技術を導入しました。橋脚の不陸を地上から高精度に三次元計測できるため、高所足場上での計測作業を大幅に削減できます。計測データは専用アプリに自動で取り込まれ、不陸解析から鋼板製作用図面の作成までを自動化しており、専門的な3D計測やCADの高度な技能を必要としない操作性を備えています。

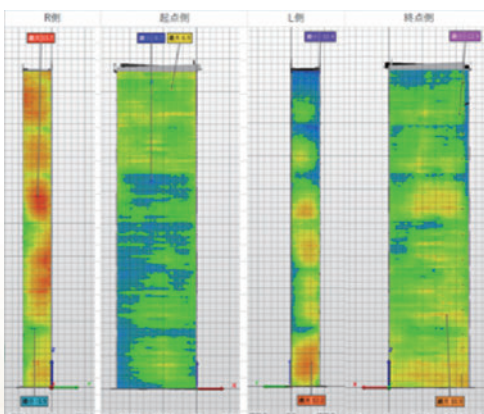
これにより、計測から図面化までの所要時間を従来の約10分の1に短縮し、生産性と安全性の向上を同時に実現しました。また、高精度な三次元計測に基づく図面作成により、鋼板のフィット性向上や現場での手戻り削減にも寄与しています。本技術は国土交通省の新技术情報提供システム「NETIS」に登録されており（登録番号：KK-250048-A）、鋼板巻立て工の効率化を図る高度技術として期待されています。



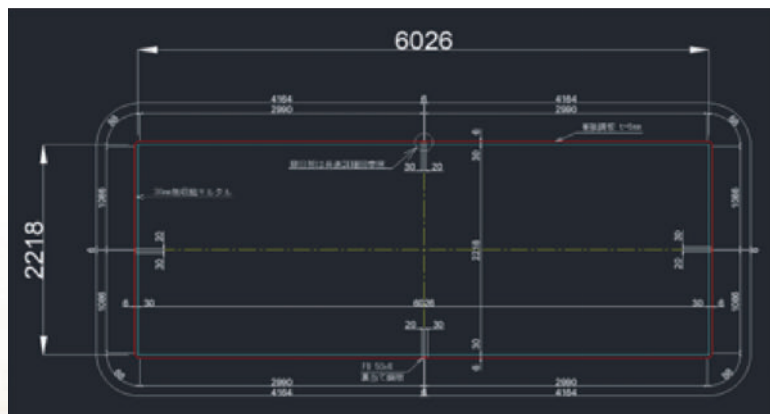
足場不要でのレーザー計測



4ステップ計測（1時間半/1基）



計測した不陸を1分でカラーマップ化



計測データを図面化

技術開発

周辺住民に優しい工事現場へ 「岩盤切削機（サーフィスマイナー）」

道路改良・造成・鉱山採掘工事等において低振動・低騒音の岩盤切削機「サーフィスマイナー」を使用し、近隣住民の負担軽減に取り組んできました。

最近では、燃料に空気の超微細気泡(ナノバブル)を混入させる装置を設置し、燃焼効率を上げることで、燃料消費量・CO₂排出量を削減する試みにも挑戦しています。

さらに、2021年末には新たに2500SM(従来機)を軽量・小型化した220SMを導入しました。新型機は環境負荷が小さくなったことに加え、従来機より狭隘な現場にも適用が可能であり、運搬も容易であることから、これまで以上に稼働の機会が増えるものと期待しています。また、建設DXや建設ICTへの対応として、3次元マシンコントロール技術(3D-MC)を導入し、切削作業の効率化や高精度化にも取り組んでいます。

今後も環境負荷の低減、作業効率の向上のために挑戦を続けます。見学希望の方は、ぜひ一度ご連絡ください。



岩盤切削機（サーフィスマイナー 220SM）



岩盤切削機施工状況



3D-MCによる切削状況(移動局)



MC基地局

ナイスアースワーク

ナイスアーバンワーク

ナイスライフワーク

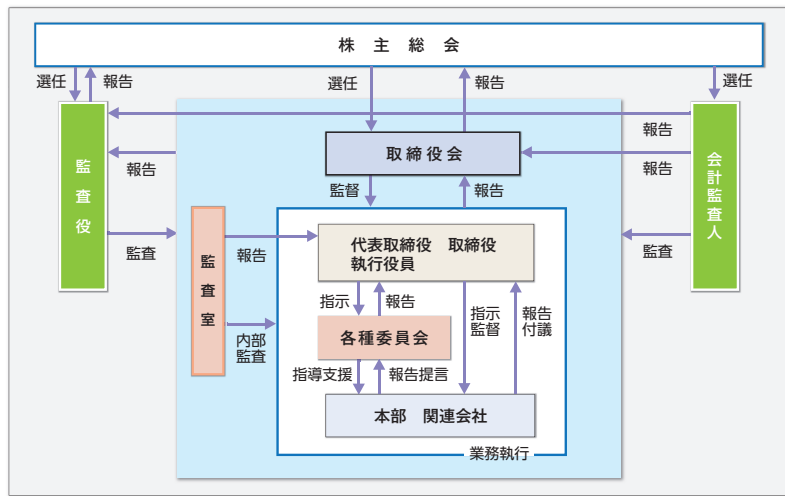
ナイスハートワーク

ナイスフットワーク

ナイスネットワーク

コーポレートガバナンス

コーポレートガバナンスは、持続的成長のための基盤となる「健全性」、「効率性」、「透明性」を確保し、企業が社会的責任を果たすための仕組みです。当社は厳格な経営監視体制のもとにコーポレートガバナンスを強化し、経営上の重要事項や課題に対して迅速かつ確に意思決定を行って、公明・公正な事業活動を推進しています。



コンプライアンス(法令・企業倫理遵守)へ向けて

奥村グループ基本理念

奥村グループの全役員および従業員は、業務遂行にあたり法令および社内規程・企業倫理を遵守するとともに、社会秩序に沿った公正・誠実な行動をとる。

一般行動基準

1. 企業の社会的責任を自覚し、高い倫理観をもって行動する。
2. 人権を尊重し、差別・ハラスメントを行わない。
3. 反社会的勢力との関係を一切もたない。
4. 会社利益・評価に反する行為を行わない。

営業活動基準

1. 独占禁止法ならびにその他の法令を遵守し、公正かつ自由な競争原理に基づいた営業活動を行う。
2. 社会的良識に反することなく、また第三者から疑念を抱かれるような行動をしない。

既往の行為、現在進行中の行為について、この基準に違反の懸念があるときは、上長または監査室に報告・相談する。

取締役・使用人の職務遂行が法令および定款に適合することを確保するための体制

当社はコンプライアンスの推進のため「コンプライアンス規程」を制定し、「コンプライアンス委員会」でコンプライアンス全体を統括しています。

また、「内部通報制度」を設け、当社の取締役および使用人によって法令違反や企業倫理に反する不正行為等が行われた、または行われようとしていることに気がついた者は、社内窓口である監査室または社外窓口の弁護士に、速やかに通報しなければなりません。

2025年度実施のコンプライアンスセミナー

毎年コンプライアンスセミナーを開催して法令遵守の大切さを学び、企業倫理感を養うように努めています。

2025年度は7月22日に「ハラスメントについて」のテーマで、職場における三大ハラスメント(パワハラ・セクハラ・マタハラ)の定義や類型といった基本的事項から、過去に裁判でハラスメントと認定された発言や対応策まで、具体的事例を取り上げ、当社に求められる様々な責任や注意点を詳細に知ることができました。

11月27日には「犯罪グループの最近の動向～『匿名・流動型犯罪グループ(トクリュウ)』を中心に～」のテーマで、3月5日には「独占禁止法について」と「カルテル・談合のリスク」のテーマでセミナーを開催しました。



奥村グループにおける業務の適正を確保するための体制

奥村グループは、「業務運営の基本方針」に記載した「経営理念」を共有しています。また、「内部通報制度」も奥村グループ全体で運用しています。

反社会的勢力排除に向けた基本的な考え方およびその整備状況

当社は、社会秩序や企業活動を阻害するおそれのある団体・個人による不当な要求に対し、毅然とした態度を貫き排除します。また、必要に応じて外部機関とも協力し、一切の関係を持ちません。

対応統括部署を設置し、コンプライアンス委員会および顧問弁護士、所轄警察署等の外部専門機関と連携して対応する体制を整えています。

リスク管理

損失の危険管理に関する規程とその体制

当社はリスク管理全体を統括する組織として、代表取締役副社長を議長とする「本部長会」を設置し、危機管理にあたります。また各本部においては、リスクを洗い出し、リスク軽減に取り組みます。

安全リスクについては、「中央安全衛生委員会」がこれを

専管します。また、その下部組織の「安全衛生委員会」は、各本部の特性を反映した安全・衛生管理を行います。

財務面については、各本部による自律的な管理を基本としつつ、財務部門が全社管理を行います。

内部統制システム

取締役の職務執行が効率的に行われることを確保するための体制

当社は定例の「取締役会」を毎月1回開催し、重要事項の決定、取締役の業務執行状況の監督等を行っています。「取締役会」の機能をより強化し、経営効率を向上させるため、上記「取締役会」には全取締役・執行役員が出席し、業務執行に関する基本事項および重要事項に係る意思決定を機動的に行っています。

「執行役員制度」を導入することで経営方針などの重要事項の意思決定と業務執行機能を分離し、変化の激しい経営環境にも機敏な対応ができるようにしています。

監査役への報告体制および その他監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制

取締役は、会社に著しい損害を及ぼすおそれのある事実を発見したときは、法令に従い直ちに監査役に報告します。

監査役は「取締役会」その他の必要な会議に出席するとともに、主要な稟議書その他業務執行に関する重要な文書を読覧し、必要に応じて取締役または使用人にその説明を求めます。また、監査役は監査法人と情報を交換して連携を図ります。

監査役を補助すべき使用人

必要に応じて監査役の業務を補助するためのスタッフを置くこととし、その人事については取締役と監査役が意見交換を行って決定します。

情報セキュリティ

取締役の職務執行に係る情報の保存および管理に関する体制

当社は法令や社内規程に基づいて、情報を文書に記録し保存しています。また、情報の管理を徹底するため、「情報処理管理規程」、「個人情報保護規程」、「特定個人情報取扱規程」等を制定し、運用しています。

防災対策と事業継続計画(BCP)

地震等の大規模災害が当社拠点周辺で発生した場合、役員および従業員とその家族が被害を被り、事業活動に多大な影響を及ぼすことが予想されます。当社では、役員および従業員とその家族の安全確保を最優先として、応急業務(安全確保、障害物排除、インフラ復旧、顧客支援など)を実施するための事業継続計画(BCP)を策定しています。

基本方針

1. 役員および従業員とその家族の安全確保と迅速な安否確認
2. 事業拠点、施工中現場の保全及び二次災害の防止
3. 重要事業の継続に必要な活動
4. 顧客企業等への対応、社会機能の復旧、地域への貢献

重要業務3項目

総合建設会社としての社会的責任を果たすための重要業務として3項目を決定しました。

1. インフラ復旧工事への協力要請に対する迅速な対応
2. 防災時における施工中の現場の安全確保
3. 自社施工物件の被害状況確認と施主への復旧支援

環境開発本部では、次の認定を受けています。

- ・環境開発本部 「災害時建設事業継続力」 国土交通省近畿地方整備局から、「災害時建設事業継続力認定制度審査要領」に適合しているとして
- ・東京支店 「災害時の基礎的事業継続力」 国土交通省関東地方整備局から、「建設会社における災害時の基礎的事業継続力評価要領」に適合しているとして

会社概要

商号 奥村組土木興業株式会社
創業 1920年1月
設立 1959年5月
代表者 取締役社長 奥村安正
資本金 10億円
売上高 546億円(2025年度)
従業員数 888人(2026年3月末現在)

営業許可

- 特定建設業許可 大臣許可(特-6)第3671号
- 宅地建物取引業免許 国土交通大臣(9)第3861号
- 一級建築士事務所登録 大阪府知事登録(又)第7408号

ISO9001品質マネジメントシステム認証取得

環境開発本部/本社、東京支店、京都支店、
神戸支店、広島支店、名古屋支店
プロダクト本部/建材部

ISO14001環境マネジメントシステム認証取得

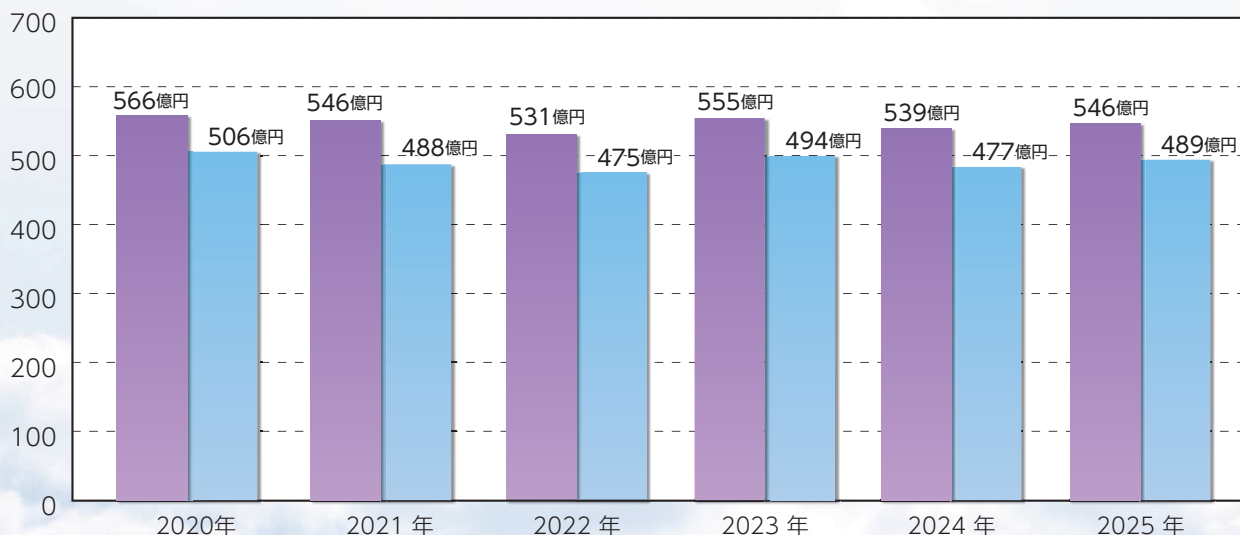
環境開発本部/本社、東京支店、京都支店、
神戸支店、広島支店、名古屋支店
LG本部/本社、設備部、導管部、舗装部
プロダクト本部/リサイクル課

主な営業種目

土木 港湾整備、河川護岸、ダム、土地造成、橋梁、トンネル、鉄道、道路改良、道路舗装、道路耐震補強、のり面補強、上下水道、岩盤切削、電氣管路
建築 マンション新築、ビル新築、店舗・工場・倉庫新築、リフォーム
設備 ガス内管、ガス住宅設備機器、ガス空調設備、総合設備
導管 ガス本支供管、ガス供給維持・保全
舗装 道路舗装本復旧
建設資材 砕石販売、アスファルト合材製造・販売、建設廃材の受入、再生骨材製造・販売、建設発生土の受入、改良土製造・販売、コンクリート二次製品販売

売上高

■売上高 ■完成工事高



ナイスアースワーク

ナイスアーバンワーク

ナイスライフワーク

ナイスハートワーク

ナイスフットワーク

ナイスネットワーク